

BLITZEN TIMES

レースレポート

JCL2021 開幕戦

カンセキ真岡芳賀ロードレース カンセキ宇都宮清原クリテリウム



コラムトピックス

植木潤

グッズ情報

2連勝記念プレート&トートバッグ

チームワークで勝ち取った2連勝

ホームレースで快勝

ブリッツェン劇場

三菱地所 JCL ロードレースツアー 2021 第1戦・第2戦

3/27 カンセキ真岡芳賀ロードレース

栃木県 / 真岡市・芳賀町・宇都宮市

3/28 カンセキ宇都宮清原クリテリウム

栃木県 / 宇都宮市

—真岡芳賀ロードレース—

3月27日（土）、三菱地所JCLロードレースツアー第1戦「カンセキ真岡芳賀ロードレース」が真岡井頭公園周辺特設コースにて開催。増田成幸、堀孝明、西村大輝、小野寺玲、中村魁斗、小嶋溪円の6名が参加した。

今回のコースレイアウトは1周7.6kmの周回コースを20周する、トータル152kmの長距離レース。コース後半に短距離の上り区間があるもののそれ以外は比較的緩やかな勾配で、選手たちにとってはほぼ平坦なコースと言って良いだろう。雲ひとつない青空のもと、華々しくレースはスタート。序盤は各チームの止めどないアタック合戦が続くが、決定的な逃げは決まらない。10周回を過ぎた中盤から動き出した宇都宮ブリッツェン。15周目に強力な6名の逃げ集団に乗った増田と西村。最終周回で集団から絶妙なタイミングで飛び出した増田がそのまま独走逃げ切り勝利。西村が2位でゴールラインを通過し、初戦にしてワン・ツーフイニッシュを決めた。



—増田の「勝ち」スタイル—

増田の異名は「不死鳥（フエニックス）」。これは度重なるケガや病気を乗り越え何度もレースの場に舞い戻り勝利を掲げる増田を比喻したものだ。増田の走る姿はまさに鳥。大きな翼を広げ大空に飛び立つかのように音もなく集団から飛び出し、単騎独走逃げ切り勝利というのが、増田の得意とする「勝ち」スタイルだ。今回のロードレースはまさにこのスタイルにハマった形で増田が勝利を掴んでいる。

レースが15周目に入る段階で優勝候補選手たちが乗った強力な6名の逃げ集団が出来上がった。トマルバ（キナンサイクリングチーム）鈴木龍（レバンテフジ静岡）小石佑馬・石原悠希（チーム右京相模原）そして増田・西村だ。後続集団とのタイム差を45秒程あけたまま、そのまま最終周回へ。中長距離の上り坂で伸びのある走りを得意とする増田にとって、実力者揃いのこの集団で最後のゴール前争いは避けたい。ライバルたちの不意をつき絶妙なタイミングで増田が飛び出した。タイムトライアルチャンピオンでもある増田は一気に15秒程タイム差をひろげ最終周回を独走。他の追従を許さずことなく、余裕の笑顔で初戦を制した。

—栃木県で迎えた開幕戦—

「地域創生」を掲げる新リーグ「ジャパンサイクルリーグ（通称JCL）」が栃木県で開幕した。一般公道を舞台とするロードレースの開催には地域の理解と協力が不可欠。宇都宮ブリッツェンと那須ブラーゼン2つの地元チームを有し、ロードレースの開催実績も豊富な栃木県が開幕戦の地に選ばれたのは必然のように感じる。



大会を支えてくれたボランティアスタッフの皆様と。ブリッツェン・ブラーゼン選手とともに記念撮影

今大会ではリーグ関係スタッフの他に、2日間で約180名の地元スタッフの力を借りて開催が実現された。まずは大会運営を支えてくださった地元スタッフの皆様に感謝を伝えたい。開幕戦では多くのカメラを導入、実況・解説など情報の配信に力を入れていた。レース中の各集団の動きやレース後の選手たちの表情まで、ファンが欲しかった情報を逃さず配信していた。特にロードレース映像の再生数は現在既に3万回を越えている。

―宇都宮清原クリテリウム

翌28日(日)、三菱地所JCLロードレースツアー第2戦「カンセキ宇都宮清原クリテリウム」が清原工業団地内特設コースにて開催。宇都宮ブリッツェンから増田成幸、小坂光、堀孝明、西村大輝、小野寺玲、貝原涼太の6名が参加した。

今回のコースレイアウトは、以前同会場で開催されたJプロツアー「宇都宮クリテリウム」と同じ、1周2.2kmを23周するトータル50.6kmのレース。90度・180度のコーナーばかりの、加速・減速を繰り返す、短距離ながらも体力の消耗が激し



ゴールラインで決めた、「オノライダーポーズ」。
競走馬を擬人化した育成シミュレーションアプリゲームで、アニメ化もされている、現在流行中の話題作。
作中の人気キャラクター「ゴールドシップ」の「1着のポーズ」(通称：ゴルシポーズ)を模したポージングを披露し、ロードレース界以外からも注目を集めることとなった。

―自身の力で掴み取った4連覇

小野寺はレース前、インタビュウに対し、今回のコースレイアウトは苦手だと語っていた。というのも、小野寺が得意とするのはチームメイトからのアシストを受け、ハイスピードからのスプリントゴール。かつてのレースでは最終コーナーが90度ターンだった為、ゴールストレートのギリギリまでチームメイトのアシストを受けられた。しかし今回のコースでは180度のヘアピンコーナーを経ての直線ゴール。コーナーを抜けた時の位置取りも重要だが、最終コーナーで最減速した状態から、

いコースだ。そして決定的な違いは、かつての「宇都宮クリテリウム」とは反対周りになること。そのためゴール前の最終コーナーが180度となり、最減速した状態からいかに短距離で加速しゴールできるかが勝負のキとなる。
昨日とは打って変わって強い風雨の中で開催されたクリテリウム。スピードレースで落車も起こるなか、各チームのアタックを小坂が幾たびもチェック。増田・西村のアシストで最終コーナーをクリアしスプリント勝負を制した小野寺が歓喜の優勝、事実上の4連覇を決めた。

―アシストの活躍

レースにおいて、どうしても優勝した選手にのみスポットライトが向けられるが、今回のクリテリウムでの勝利、一番の立役者は小坂・増田・西村を中心としたアシスト選手たちではないだろうか。
小坂はクリテリウムで、ライバルチームたちの先制攻撃に反応し、何度も先頭グループに入っている。先頭集団に小坂がいることで、それを追う後方集団にいるチームメイト達は体力を温存することが出来た。そして最終周回の勝負所、増田と西村が小野寺を引き連れ一気に集団最前列へ。チームメイトから勝負を託された小野寺がその期待に応え、勝利した。自らの成績を犠牲にし、それでもチームの為に走りぬいた彼らの活躍を称えたい。



ファイニッシュラインまでの250mまでのアプローチは、自身の脚力のみで挑まなければならない。4連覇がかかっているプレッシャーもあつて、今回のレースでの勝利に自信が無いように伺えた。
そして当日、小野寺は増田・西村に連れられ最後の180度ターンをクリア。そこからの加速は自らの脚のみで全力の踏み込み。集団スプリントを制し、新たな「オノライダーポーズ」でゴールラインを通過した。
ここに至るまで、チームメイトのアシストはあるものの、最後の一番で勝利を掴み取ったのは間違いなく小野寺自身の力だ。



第2回
全輪駆動日記
ブリッツェン☆ステラ
(下部育成組織) 担当
植木 潤

宇都宮ブリッツェンの
フロントスタッフが
お届けするミニコラム

小学4年生から6年生を対象に実施している、ロードレーサー発掘育成事業の「ブリッツェン☆ステラ」(以下ステラ)。地域密着型ロードレースのプロチームで下部組織や育成チームを有する組織は全国に数多くあるが、地域の小学生中高学年を対象とし専属コーチを付けスクール化したケースはほぼ前例がない。

2018年3月頃からアシスタントとして事業に参加し、正式に業務を受け継いだのはその年の4月の活動第2期からのこと。正直なところ競技経験はまったく無く、運動神経も決して良いほうでは無いのに競技者育成スクールに携わるのは戸惑いと不安しか無かった。回数を重ねるうちにデータが蓄積され、自身2年目となる活動第3期からはルーティン化・システム化をより多く進めてきた。

そんなステラも3月に実施した最終練習をもって活動第4期が完了し、無事10名の6年生(4年生から加入した2期生と5年生から加入した3期生)が卒業した。例年保護者の方々が卒業制作にと贈り物をこしらえてくれるのだが、加入当初やそれぞれ思い入れのある写真にコーチスタッフ陣への感謝の作文が添えられていた。トライアウトを含めると3年生の頃からみてきたことになる彼らのチーム記録写真と並べると、身長も伸び顔つきも凛々しくなっていた。



練習中のやりとり語録を読み返すと言葉遣いや文字も丁寧になり心も身体も成長していることに驚かされる。自身の活動記録には引継ぎ間もなく何もかも手探りでコミニケーションを取っていた事が記載されており、悩みながら業務にあたっていた当時から鮮明に思い出される。

現在は中学生を対象にした下部組織「ブラウ・ブリッツェン」(以下ブラウ)の事務・トレーニングアシスタントも兼任している。ブラウにはステラ卒業生が多数在籍し、4月から高校へと進学する選手もいる。もちろん今季ステラを卒業しブラウに加入することが決定している選手もいる。

ロードレースという競技を通し、単に自転車に乗るだけでなく「楽しく操り、誰よりも速く走る」事を楽しみながら、学びとともに成長する育成事業のステラとブラウ。3年生が中学生に、6年生が高校生に...と、成長著しい彼ら彼女らの大事な時間を共有させてもらえたことは感謝の言葉しか思い浮かばない。

本当に育成させてもらっているのは僕自身なんだよ...と。



増田&小野寺 優勝記念グッズ制作決定!

新リーグ開幕戦真岡芳賀ロードレースで勝利を修めた増田成幸選手、第2戦宇都宮清原クリテリウムで優勝、4連覇の快挙を成し遂げた小野寺玲選手の記念グッズを受注生産で発売いたします!

- ・ B5 アクリルプレート 2種
(増田成幸選手 Ver.、小野寺選手 4連覇 Ver.)
... 3,000円 (税込・送料込み)
- ・ 増田&小野寺 WINNER トートバッグ
... 2,100円 (税込・送料込み)

※価格は予定です

Race Schedule

- 05/22 (土) ~ 23 (日) 2days race in 木祖村 / 長野県
 - 05/28 (金) ~ 30 (日) ツアー・オブ・ジャパン
 - 06/04 (金) ~ 06 (日) JCL ツール・ド・熊野 / 和歌山県・三重県
 - 06/17 (木) ~ 20 (日) 全日本自転車競技選手権大会 / 広島県
 - 07/10 (土) JCL 広島県ロードレース / 広島県
 - 07/11 (日) JCL 広島県クリテリウム / 広島県
 - 07/24 (土) Olympic Games
 - 07/31 (土) ~ 08/01 (日) JBCF 西日本トラック / 未定
 - 08/07 (土) ~ 8 (日) JCL 大分県ロードレース / 大分県
 - 08/28 (土) ~ 08/29 (日) JBCF 東日本トラック / 未定
 - 09/19 (日) JCL 新城ロードレース / 愛知県
 - 09/24 (金) ~ 26 (日) ツール・ド・北海道 / 北海道
 - 10/16 (土) ジャパン・カップ・クリテリウム / 栃木県
 - 10/17 (日) ジャパン・カップ・ロードレース / 栃木県
 - 10/23 (土) JCL 静岡県タイムトライアル / 静岡県
 - 10/24 (日) JCL 静岡県クリテリウム / 静岡県
 - 10/31 (日) JCL 東京都クリテリウム / 東京都
 - 12/04 (土) ~ 05 (日) 全日本選手権自転車競技大会シクロクロス
- ※日程調整中
那須塩原クリテリウム
山口ながとクリテリウム
秋吉台カルストロードレース
その他 数レース調整中

私たちは宇都宮ブリッツェンを応援しています

SPONSORS: MERIDA, miyata, HOME CENTER kanseki, 下野新聞社, SurLuster, Live ライフガーデン, TOYOTA WOODYOU HOME, たいさや, NSK ナカニシ, SHIMANO, 足利銀行, ORES, Dexerials, rolan ローラン, NOA NOA HOME, 作新学院, 栃木信用金庫, 渡辺建設, とちぎテレ, 騎空ペガサス, 住めば愉快だ宇都宮, 仲田総業株式会社, Continental Home コンチネンタルホーム, TOCHIGI, TCB観光, ケイズブレイン, 関東自動車, (株)松本建設, 宇都宮食販, NIPPON EXPRESS, CRTハウジング, TIGER, GOKO, FUJISACO, Ubooken, JBJARVIS, K.K.日本栄養食糧協会, 時武, Apeccs, 明電産業, Aetv, BREX, KODAIRA ENTERPRISE, 坂田新聞店, 藤井産業, Power Pharmacy, 宇都宮餃子, 多良山不動産, YUKOO 横尾製作所, Webpass, 株式会社 ツカサ精密, 株式会社 とちぎんTT証券, mommiya, LC, 株式会社 大塚鉄工建設, 栃木トヨペット, 野村證券, 山陸, 速辺産業株式会社, segbu, UBC 宇都宮文化センター株式会社, FujiLogicargo, Dai-ichi Life Group, PRTIMES, 石井機械建設, ISHIKAWA, 協新電工, (有)リベカ, Dai-ichi Life Group